

Form A 書類 A

申請書及び申請書・現地審査チェックリスト

コラム1	コラム2
コミュニティ記載欄	審査員記載欄
セクション A コミュニティの概要	
<p>A.1 簡潔にコミュニティ及びその歴史的発展について記載すること</p> <p>十和田市は、本州最北端に位置する青森県の南東部中央に位置し、行政区域面積は 725.67 km²と広大なエリアを有しています。</p> <p>秀峰八甲田の裾野に拓かれ、十和田八幡平国立公園に代表される神秘の湖「十和田湖」、千変万化の美しい流れを織りなす「奥入瀬溪流」は日本有数の観光地として知られ、国内はもとより海外からの観光客も多数訪れています。</p> <p>市の中心部は、「武士道」の著者・新渡戸稲造博士の祖父・新渡戸傳氏の開拓計画と、その子・新渡戸十次郎氏による新都市計画により、今から約 160 年前に開拓され、整然と区画された緑豊かな美しい街並みは日本における近代都市計画のルーツと呼ばれています。</p> <p>人工河川の稲生川が田畑を潤し、県内有数の農業の盛んな地域として生まれ変わり、現在では県南地方の医療や福祉、経済などの中核的な役割を担う地域として発展しています。</p> <p>(報告書 P6 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か？</p>
<p>A.2 安全に関する全体的な方策、抱負・目標、コミュニティの取組みについて記載すること</p> <p>当市の最上位計画となる十和田市総合計画に掲げる将来都市像「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」の実現を図るため、2007 年からの第 1 次実施計画、2011 年からの第 2 次実施計画、2014 年からの第 3 次実施計画にセーフコミュニティ活動の推進を位置付けています。</p> <p>保健・医療の充実や福祉の充実等、健康づくりを支援するヘルスプロモーション活動と、市民の生活安全の確保のために事故やけがを予防するためのセーフプロモーション活動を長期的に展開し、取り組みの効果や評価を検証しながら 5 年ごとのセーフコミュニティ認証取得を目指します。</p> <p>(詳細は報告書 P95 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か？</p>
<p>A.3 首長（および同等の立場）及び実行委員会はどのように関わっているか？だれが、分野横断的なグループをまとめているか。</p> <p>市長が十和田市セーフコミュニティ（SC）推進懇談会の座長として、市内の SC 活動を管理、推進しています。</p> <p>なお日本は、政治の仕組みが欧米とは異なるため執行委員会に該当する組織は設置されていません。</p> <p>しかし、分野横断的な取り組みをまとめる存在として、組織を越えた協働については、SC 推進懇談会、行政内の協働に関して、民生部まちづくり支援課が事務局として調整しています。</p> <p>(報告書 P51 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p>首長は関わっているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>実行委員会は関わっているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>どこが分野横断的なグループをまとめているか？</p>

<p>A.4 コミュニティにおけるリスクの概観を示す</p> <p>事故やけがのデータ（救急搬送データ、医療機関受診データ、交通概況など）の分析結果から、「8つの重点課題」が明らかになりました。</p> <p>①自殺予防策 外傷による死亡原因はほとんどの年代で自殺が1位となっている。（P17表2-2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人当たりで見ると、当市は全国、青森県と比べて自殺死亡者が多い。（P23図2-8） <p>②高齢者の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は不慮の事故による死亡率が高い。（P19表2-4） ・高齢者は外傷受傷率が高く、主な原因として日常生活での転倒・転落によるけがが多い。（P29図2-16・P38図2-23） <p>③交通事故予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口1万人当たりで見ると、当市は青森県と比べて人身事故の発生件数が多い。（P41図2-29） ・歩行中の交通死亡事故は高齢者が75.0%を占めている。（P41表2-17） ・冬期間は積雪により歩道の確保が困難になる。（P6表1-2） <p>④防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々高齢化が進んでおり災害時に不安がある。（P7表1-3） ・毎年、建物火災による死者が発生している。（P44図2-31） <p>⑤子どもの安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳から4歳までは外傷受傷率が高く、外傷発生場所は主に自宅（屋内）で発生している。（P29図2-16・P31表2-10） ・小学校管理下内における外傷の53%は休憩時間に発生している。（P35図2-18） <p>⑥労働の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業や商業、建設業等の様々な職種で労働災害が発生している。（P39図2-26） ・農作業中によるけがは60歳以上に多い。（P40図2-28） <p>⑦暴力・虐待予防</p> <p>子どもや高齢者への虐待による相談が発生している（P48図2-36）</p> <p>⑧余暇活動の安全（スポーツ・観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツによる余暇活動中のけがが発生している。（P45図2-32） ・観光地を抱えているため観光客の安全対策を図る必要がある。（P10表1-9） 	<p>リスクの外観は十分に記述されているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
--	---

セクション B コミュニティの構造	
<p>B.1. 人口動態構造¹について説明する</p> <p>十和田市の2013年9月30日現在の人口は64,694人で、2009年と比べて1,727人の減少となっています。</p> <p>年代別にみると、64歳以下の人口はいずれも減少していますが、65歳以上の人口は増加し、2013年の高齢化率は26.8%となり高齢化が進んでいます。</p> <p>2013年の総世帯数は27,095世帯で、高齢者単身世帯の割合は14.2%、高齢者夫婦世帯の割合は8.9%となっています。</p> <p>2009年に比べて総世帯数は394世帯が増加し、高齢者の単身世帯及び夫婦世帯の割合も増加しています。</p> <p>2013年の人口分布をみると、男女とも60代の人口が多い状況です。50代以下の人口は少ないため、今後はより一層、少子高齢化が進む傾向にあります。</p> <p>(報告書 P7, P8 参照)</p>	<p>人口動態構造とリスクについて十分に記述されているか？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.2. 現在の安全向上・障害予防（の取り組み）および今後の計画について説明する</p> <p>十和田市では、国の指針に従い様々な対策を行っており、結果として、ほぼすべての性別、年齢、環境において長期・継続的な予防活動を行っています。</p> <p>(詳細は報告書 P53～p66 参照)</p> <p>また、市の最上位計画となる十和田市総合計画に掲げる将来都市像「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」の実現を図るため、2007年からの第1次実施計画、2011年からの第2次実施計画、2014年からの第3次実施計画にセーフコミュニティ活動の推進を位置付けています。</p> <p>長期的展望として、市民等との協働による安全・安心なまちの確立を目指し、生活の質の向上を図るために、2015年のセーフコミュニティ再認証取得を通過点として、今後も継続してセーフコミュニティ活動を推進していきます。</p> <p>(報告書 P95～P96 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.3 コミュニティの地方政治家による継続的な傷害予防への支援について記載する。また、プログラムのどのような部分がより大きな単位の地方政治によって担当・支援されているか</p> <p>市長が「十和田市 SC 推進懇談会」の会長として十和田市内の SC 活動の管理、推進しています。</p> <p>また、十和田市は青森県から2008年から5年間にわたり、SC 事業費補助金の交付を受けたほか、SC 推進懇談会の委員、対策部会の部会員、SC 外傷サーベイランス懇談会の委員として関わりを持ちながら SC 活動に取り組んでいます。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>B.4 すでに策定された安全向上・障害予防の取組を推進するための方策（戦略）について説明する</p> <p>十和田市では、SCを始め、防災・消防、交通安全、防犯、健康づくり・医療、地域福祉、子育て支援、高齢者支援、障害のある人の支援等、安全・安心に関わる様々な取り組みについて、十和田市総合計画に掲げる将来都市像「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」をもとに計画を推進しています。</p> <p>（報告書 P95～P96 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.5 だれ（どこ）が安全向上・傷害予防プログラムの責任者か、そして地域の政治及び行政組織においてどこに位置しているか。</p> <p>責任者： 十和田市民生部まちづくり支援課長</p> <p>位置付け： 市の主要推進施策に関する事業を推進すること</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.6 安全向上・傷害予防プログラムをリードしているユニット（部署等）はどこか</p> <p>十和田市民生部まちづくり支援課</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.7 セーフコミュニティは、継続的なプログラムかプロジェクトか？</p> <p>十和田市のSC活動は、市内の重点施策と連動した継続的なプログラムになります。市総合計画における進行管理と併せて、市民等との協働による安全・安心なまちの確立を目指し、生活の質の向上を図るために、2015年のセーフコミュニティ再認証取得を通過点として、今後も継続してセーフコミュニティ活動を推進していきます。</p> <p>（報告書 P96 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.8 全コミュニティをカバーしている地方政治家によって具体的な目標は設定されているか？それは、何か？</p> <p>2007年にスタートした市の最上位計画である「十和田市総合計画」において全市をカバーした目標が設定されています。</p> <p>（報告書 P95, P96 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B.9 その目標を導入したのはだれか？</p> <p>十和田市長</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>B.10 どのようにその SC 目標は評価され、だれにその結果が報告されるか？</p> <p>十和田市では、重点課題に基づく領域別対策部会の活動において、それぞれ、短期的、中期的、長期的な指標を定め、短期的、中期的な評価については、各対策部会で評価を行います。</p> <p>また、内部評価機関である十和田市 SC 外傷サーベイランス懇談会と外部評価機関である日本 SC 推進機構にて、中期的、長期的な評価を行います。</p> <p>なお、評価結果については、十和田市 SC 推進懇談会に報告しています。</p> <p>(報告書 P73 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B11. 安全向上のために経済的な動機は活用されているか？使われている場合は、どのように？</p> <p>十和田市では少子高齢化により高齢化率が年々増加しています。それに伴い、高齢者の外傷も年々増加しております。そのため、将来的な医療費の伸び幅を抑えるために、高齢者の安全対策部会のプログラムに「家庭内の環境改善プログラム」の評価指標として、医療費の削減を掲げ、効果を計測していきます。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>B12. 安全向上のための地域レベルでの規制 (ルール) はあるか？ある場合は説明を。</p> <p>十和田市では、2005 年に「十和田市安全で安心なまちづくり条例」を制定し、犯罪及び事故を未然に防止するための市、市民及び事業者の責務を明らかにし、安全で安心なまちづくりの実現を目指しています。</p> <p>2012 年に「十和田市まちづくり基本条例」を制定し、市民、市議会、行政の役割を明確にして参画と協働による市民主体の自治の進展を図り、活力に満ち安心して暮らせる十和田市を目指しています。</p> <p>2013 年に市、市民及び除雪業者が除雪に関するそれぞれの役割を認識し、冬期間における市民の生活の安全と安心な暮らしを確保することを目的に「協働による除雪の推進に関する条例」を制定しています。条例では市民は高齢者、障害者などへの地域支援、除雪業者は交通法令を遵守した安全で丁寧な除雪作業、市は除雪に関する市民協働の推進と体制整備などを位置付けています。</p> <p>2014 年に「十和田市協働による狭あい道路の拡幅整備の推進に関する条例」を制定し、消防車や救急車の緊急時、除雪等の問題を解消し、災害に強く、安心して暮らしやすいまちづくりを目指しています。この条例により幅員 4 m 未満の道路の場合、道路中心線から 2 m を道路境界線とみなし、その範囲に家や工作物の建築を規制しています。</p> <p>その他にも次のとおり安全向上のための条例や地域活動が展</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>開されています。</p> <p>2008年に住宅火災による逃げ遅れを予防するため十和田地域広域事務組合火災予防条例に住宅に住宅用火災警報器の設置を義務付けています。</p> <p>また、2013年に高齢者の緊急事態や気がかりなときに、適切にそして速やかに対応するために、市と町内会、郵便事業所、民生委員、保健協力員、新聞配達業者、宅配業者、牛乳宅配サービス、電気・ガス・水道事業所等との連携による高齢者あんしん見守りネットワークの登録制度を整備し、市内全域での取り組みを推進しています。</p> <p>(報告書 P55, P57 参照)</p>	
セクションC 【指標1】	
<p>1.1 安全向上・傷害予防プログラムの管理・調整・企画を担う分野横断的なグループについて述べよ。</p> <p>十和田市のSC活動の推進組織として、安全・安心に関する活動に取り組んでいる幅広い組織や団体等から構成する「十和田市SC推進懇談会」を設置しています。この懇談会は、十和田市が定めた要綱により設置するもので、市長が座長になります。</p> <p>(報告書 P51 参照)</p> <p>また、十和田市民生部まちづくり支援課が事務局として調整しています。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>1.2 当該地域の政府および保健分野はどのように安全向上・傷害予防において協働しているか述べよ。</p> <p>十和田市SC推進懇談会及び各対策部会の事務局を民生部まちづくり支援課が担当し、各対策部会の委員として庁内の関係課が関わりを持っています。</p> <p>保健分野については、十和田市の健康増進課、高齢介護課、福祉課、包括支援センターの職員が委員として参画しています。</p> <p>また、十和田市SC推進懇談会、SC自殺予防対策部会、SC外傷サーベイランス懇談会の委員として上十三保健所が参画しています。</p> <p>(報告書 P51, P52 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>1.3 赤十字、退職者組織、スポーツ組織、保護者学校組織などのNGOが安全向上・傷害予防に関わっているか</p> <p>十和田市SC推進懇談会、領域別対策部会の委員には、行政機関、医療機関、自治会、学校、商工会議所、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成協議会、赤十字奉仕団等の各種団体が参画しています。</p> <p>(報告書 P51, P52 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>1.4 一般市民にハイリスクの環境や状況について知らせる仕組みがあるか？</p> <p>様々な立場の組織や団体、個人が協働で安全・安心なまちづ</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は</p>

<p>くりを推進するため、また、より多くの住民が SC に参画するため、様々な SC 周知活動を展開しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座の開催 市の情報や取り組みについて、知識を深めていただく方法として、市 SC 担当者が直接地域などに出向き、自殺者数の状況や外傷予防、SC の普及啓発について説明を行う「出前講座」を実施しています。 ・ 市と町内会との懇談会 市民との協働によるまちづくりを推進するため、地域課題を共有し、課題解決に向けて話し合う場として、市内全 292 町内会を対象に毎年、懇談会を開催しています。 ・ SC 認証した 8 月は「十和田市いのちを守る運動月間」 自殺や外傷による死亡事故を予防するため、毎年 8 月に総決起大会を開催し、外因死予防を呼びかけるとともに、SC 活動や理念の周知を図るために研修会を開催しています。 ・ 広報とわだでの情報発信 市の広報紙に随時 SC 関連記事を掲載し、自殺予防や事故、けが予防の記事を掲載しています。 ・ SC 横断幕の掲示 市庁舎をはじめ市内の歩道橋 4 カ所に SC 認証都市、事故やけが予防を目的とした横断幕を掲げ、市民や観光客に周知を図っています。 ・ ホームページによる周知啓発 市のホームページ上で、SC 活動状況や外傷状況などを掲載し、全国に情報発信しています。 (報告書 P5 参照) 	<p>何か：</p>
<p>1.5 どのように取組(work)が持続可能な方法で組織化(体系化)されているかを述べよ</p> <p>十和田市では、SC 活動の推進母体として「十和田市 SC 推進懇談会」を設置し、行政施策と連携して推進するための組織「十和田市 SC 検討委員会」、市全域の重点課題に対する分野横断的な対策組織「SC 領域別対策部会」、サーベイランスのしくみづくり、当市における課題の抽出や活動評価を検討する「十和田市 SC 外傷サーベイランス懇談会」があります。</p> <p>また、取り組みに対する外部評価をはじめ、SC の推進については日本 SC 推進機構から支援していただいています。</p> <p>このように、それぞれの組織が役割を把握し、互いに連携・協働し、活動を推進していくための分野横断的な体制を構築しています。</p> <p>また、SC の推進体制を継続するため、市の最上位計画である十和田市総合計画に SC 活動の推進を位置づけています。 (報告書 P50 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

セクションD 【指標2】	
<p>2.1 下記の領域における安全向上・傷害予防に関する継続的な取り組みについて記載すること。また、特定のNGOはじめ各分野がどのようにかかわっているかを述べよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通安全 2. 家庭の安全および余暇時間の安全 3. 子どもの安全 4. 高齢者の安全 5. 労働安全 6. 暴力予防 7. 自殺予防 8. 防災および災害対策 9. 公共（場）の安全 10. 病院の安全 11. スポーツの安全 12. 水の安全 13. 学校の安全（セーフスクール） <p>これらのうち、コミュニティではなく、他の組織や機関によって担われているものはあるか？それについて、コミュニティはどのようにかかわっているか？</p> <p>十和田市では様々な安全向上対策や外傷予防活動を行っており、代表的な活動は次のとおりです。</p> <p>（報告書 P53～68 参照）</p> <p>*アルファベットは報告書 P53～P60 と連動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通安全 <ul style="list-style-type: none"> L：通学路へのストップマーク貼付活動 M：交通安全教室に伴う自転車無料点検 N：歩道除雪ボランティア事業 O：のぼり旗設置による交通事故等予防活動 P：反射材の使用促進啓発活動 2. 家庭の安全および余暇時間の安全 <ul style="list-style-type: none"> A：生後1ヶ月児の家庭訪問指導 B：乳幼児を持つ保護者に対する事故予防教育 C：火災による事故防止実施体験学習 G：AED救急救命講習会 Q：公園等の遊具の点検 R：奥入瀬溪流遊歩道樹木安全点検 3. 子どもの安全 <ul style="list-style-type: none"> A：生後1ヶ月児の家庭訪問指導 B：乳幼児を持つ保護者に対する事故予防教育 C：火災による事故防止実施体験学習 F：ヒヤリハット会議による保育所内の外傷予防 G：AED救急救命講習会 L：通学路へのストップマーク貼付活動 	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>M：交通安全教室に伴う自転車無料点検 U：児童虐待防止ネットワーク</p> <p>4. 高齢者の安全</p> <p>C：火災による事故防止実施体験学習 D：ひとり暮らしの高齢者の安全教室 E：高齢者安心見守り協力隊の活動 G：AED救急救命講習会</p> <p>5. 労働安全</p> <p>G：AED救急救命講習会 H：労働安全衛生大会 I：農作業事故防止講習</p> <p>6. 暴力予防</p> <p>U：児童虐待防止ネットワーク W：相談員による相談支援</p> <p>7. 自殺予防</p> <p>S：傾聴サロン「こころの広場ルピナス」 T：借金とこころの無料相談会</p> <p>8. 防災および災害対策</p> <p>G：AED救急救命講習会 X：十和田市総合防災訓練及び自主防災訓練 Y：防災マップ及び災害ハザードマップ Z：駒らん情報メールによる災害情報の提供</p> <p>9. 公共（場）の安全</p> <p>N：歩道除雪ボランティア事業 O：のぼり旗設置による交通事故等予防活動 Q：公園等の遊具の点検 R：奥入瀬溪流遊歩道樹木安全点検</p> <p>10. 病院の安全</p> <p>市内各病院において医療管理安全対策を実施しています。</p> <p>11. スポーツの安全</p> <p>G：AED救急救命講習会 J：スポーツ時の安全管理</p> <p>12. 水の安全</p> <p>K：十和田湖における水難事故対応消防訓練</p> <p>13. 学校の安全（セーフスクール）</p> <p>V：少年非行防止JUMPチーム活動</p>	
<p>2.2 両性、全年齢層、全環境・状況に関する取り組みを記載すること。「転倒予防」などすべての取組について記載し、どのようにその取り組みが行われているかを述べよ</p> <p>十和田市では、全ての性別、年齢、環境をカバーされています。（報告書 P53～P60 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

セクション E 【指標 3】	
<p>1. 先住民</p> <p>2. 低所得層</p> <p>3. コミュニティ（職場を含む）における少数（マイノリティ）集団</p> <p>4. 犯罪被害や自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人</p> <p>5. 虐待をうける女性・男性・子ども</p> <p>6. 精神的疾患、発達障害および他の障害を有する人</p> <p>7. 安全でないスポーツ、余暇活動に参加している人</p> <p>8. ホームレス</p> <p>9. 自然災害において外傷のハイリスクにある人</p> <p>10. 特定の道路や交差点、水害被害想定地などハイリスクの環境の近くで生活したり働いたりしている人</p> <p>11. 宗教、民族および性的なし好等によりハイリスクにある人</p> <p>十和田市ではハイリスクグループとして、次のグループをハイリスクにある者として対策を講じています。</p> <p>①外国人（居住者及び外国人観光客）</p> <p>外国人登録者数をみると、2014年3月31日現在、189人の外国人が市内に居住しています。</p> <p>また、観光を目的に訪れる外国人観光客が増加傾向にある中で2009年から2013年までに、当市で救急搬送された外国人は10人です。</p> <p>外国人は言語や習慣に違いがあるため、災害時、緊急時に的確な情報が伝わりにくいため、危険にさらされる可能性が想定されることからハイリスクグループとして位置付けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災のポイント」の配布 ・「十和田市多言語生活情報誌」の発行 <p>（報告書 P61 参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待を受けている子ども、高齢者 <p>虐待を受けている人は、その状況について口にできないケースがあり、抱え込む傾向があります。特に虐待を受けている子どもや高齢者は、自ら逃げるのが難しく、外部からその状況を把握することが困難なことから、ハイリスクグループとして位置付けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止ネットワーク ・産後の子どもの虐待予防のための家庭訪問チェック ・高齢者虐待防止相談支援 <p>（詳細は報告書 P62～P64 参照）</p> <p>③障害を有する人</p> <p>障害者は、災害をはじめとする緊急時には対応が遅れ、被害に遭う可能性が高いため、ハイリスクグループと位置付けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援事業 ・十和田市障害者支援協議会の設置 ・福祉避難所の開設 <p>（報告書 P65, P66 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>④自殺企図者 自殺企図者は再度、行為に及ぶ恐れがあるため、ハイリスクグループと位置付けています。 ・早期治療につなげる専門医療との連携 (詳細は報告書 P66 参照)</p> <p>⑤入山者 2009年から2013年までに十和田署管内で発生した山岳遭難は44件で、そのうち55%は自力下山できずに救助されています。また、死亡または未発見となった事例も発生していることから入山者をハイリスクグループに位置付けています。 ・山岳遭難防止活動 (報告書 P67 参照)</p>	
<p>3.2 ハイリスク環境の事例を挙げよ 1. どのようにハイリスク環境を設定しているか述べよ 2. 優先的集団や環境について述べよ 3. それらに対し、コミュニティでは特定のプログラムがあるか 4. 取組のタイムテーブルについて述べよ 5. それらのグループは、それらの活動の予防的側面にかかわっているか 十和田市では次のとおりハイリスク環境として位置付けて対策を講じています。</p> <p>①市街地における交通事故多発交差点 市内には交通事故による人身事故の発生しやすい交差点が点在しています。2008年から2010年までに交通事故発生件数の多い交差点をハイリスク環境として位置付けています。 ●自動車運転手への注意喚起 (報告書 P67 参照)</p> <p>②十和田湖、奥入瀬溪流周辺の道路 当市と青森市を結ぶ国道394号は十和田湖、奥入瀬溪流等の観光やドライブを目的に自動車やオートバイが通行しています。 一方で、急カーブや傾斜の激しい路線であり、交通事故が発生した場合、救急時に時間を要します。2012年、2013年にはオートバイによる死亡事故がいずれも1件ずつ発生しており、十和田湖、奥入瀬溪流周辺の道路は同様のケースが想定されるため、ハイリスク環境として位置付けています。 ●オートバイ運転手への注意喚起 (報告書 P68 参照)</p>	<p>記述は十分か？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>セクションF【指標4】</p>	
<p>4.1 それぞれの年齢層、環境に対して行われた根拠に基づいた方策(戦略)/プログラムについて述べよ 十和田市では、以下のように、それぞれの年齢層、環境に対して行われた根拠に基づいたプログラムを実施しています。</p> <p>①自殺予防対策 ・ こころの健康づくりプログラム ・ こころの変調に悩む人へのサポートプログラム</p>	<p>記述は十分か？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>②高齢者の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者あんしん見守りネットワークプログラム ・ 口腔体操の普及啓発プログラム ・ 家庭内の環境改善プログラム <p>③交通事故予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 反射材の利用推進プログラム ・ 交差点事故予防対策プログラム ・ 歩道除雪ボランティア事業プログラム <p>④防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅用火災警報器の推進プログラム ・ 災害時の意識づくりプログラム <p>⑤子どもの安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児を持つ親の意識啓発プログラム ・ 小学校の安全対策プログラム <p>⑥労働の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場内の転倒・転落事故予防 ・ 農作業事故防止プログラム <p>⑦暴力・虐待予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マーブルリボンの普及啓発プログラム <p>⑧余暇活動の安全（スポーツ・観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AED 救急救命講習プログラム ・ オートバイ運転手への注意喚起 <p>（報告書 P74～P83 参照）</p>	
<p>4.2 根拠に基づいた方策（戦略）を企画・実践するにあたって支援センター、認証センター及び他の学術的あるいは知識を有する組織との連絡体制を持っているか。それはどの組織か？どのような範囲においてか？注）当フォームの最後に根拠に基づいた介入に関する WHO のリンクを掲載している。</p> <p>十和田市では、根拠に基づいた方策（戦略）を企画・実践するにあたって、以下の団体と連携しています。</p> <p>（1）日本セーフコミュニティ推進機構</p> <p>十和田市は日本セーフコミュニティ推進機構と連携・協力しながら、セーフコミュニティ活動を推進しています。情報提供やアドバイス、また、庁内外での講演、対策部会の運営アドバイザー等、十和田市の活動を分析・評価していただき、改善を加えています。</p> <p>（2）青森県立保健大学との連携協定</p> <p>当市は 2008 年 8 月にセーフコミュニティの推進を目的として青森県立保健大学と支援協定を締結しています。</p> <p>これまで、青森県立保健大学とは当市の外傷調査の分析やセーフコミュニティ推進組織の委員として重要な関わりを持ちながら連携を図っています。</p> <p>（報告書 P73 参照）</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>セクション G 【指標 5】</p>	

<p>5.1 傷害予防の方策を決定するにあたって用いるデータは何か?例えば、外傷記録は病院、保健センター、歯科医院、学校、高齢者介護組織、そして警察等で記録されている。家庭調査も外傷やリスクのある環境・状況のデータ収集に活用できる。どのような方法が用いられているか?</p> <p>十和田市では方策を決定するうえで活用するデータは、傷病程度ごとに、人口動態統計、警察統計、救急搬送データ、消防年報、暴力・虐待等による相談データ、労働災害統計、小中学校の災害共済給付制度に係る記録、健康とわだ 21 アンケート、医療機関受診データ、安全・安心なまちづくりに関するアンケート、乳幼児を持つ保護者への意識調査、スポーツ少年団の安全管理に関する調査、農作業安全確認アンケート、企業や事業所等の安全対策に関する調査各種データを収集・分析しています。</p> <p>(報告書 P71, P72 参照)</p>	<p>記述は十分か?</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か:</p>
<p>5.2 安全向上・傷害予防を推進するため、どのようにデータが提示されているか述べよ</p> <p>十和田市で収集している各種データは、所管する機関・団体により、対策部会の指標に適合する内容で提示されています。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口動態統計 市の情報をもとに厚生労働省が集計し、提供される。 ・警察統計 警察が収集・集計し、毎年提供される。 ・救急搬送データ 消防署が収集・集計し、毎月提供される。 <p>(報告書 P70~P72 参照)</p>	<p>記述は十分か?</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か:</p>
<p>5.3 どのように傷害の原因、リスク、ハイリスクの環境に関して記録し、その知識を活用するかを述べよ。どのように継続的な進捗を記録するか?</p> <p>十和田市における外傷サーベイランスデータは、①行政機関等による既存データ、②医療機関受診データ、③アンケート等を継続的に収集しています。</p> <p>収集したデータは、事務局である十和田市まちづくり支援課で集計を行い、十和田市 SC 外傷サーベイランス懇談会が分析し、各対策部会に提供します。対策部会では、提供されたデータ等を課題設定に利用し、効果測定に活用しています。</p> <p>(報告書 P73 参照)</p>	<p>記述は十分か?</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か:</p>
<p>セクション H 【指標 6】</p>	
<p>6.1 プログラムからの傾向や結果を追跡するため、どのように傷害データを分析するか。何がうまく機能していて、よい結果をもたらしているか?何を継続しようと計画しているか?何を</p>	<p>用いられた方法は十分か?</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p>

<p>変更しなくてはならないか？</p> <p>十和田市では市民の外傷動向を把握するために、2011年から継続して消防署からの救急搬送データを主要な外傷データとして収集し、さらに入手できる範囲内で市内の外科・整形外科からの医療機関受診データも活用しています。</p> <p>十和田市 SC 外傷サーベイランス懇談会は、各対策部会の設定する取り組みの成果を測定・評価できるように、外傷データの分析を行い、提供しています。</p> <p>対策部会では、分析結果に基づき、新たな予防対策の立案、実践に役立てています。</p> <p>現在、後期高齢者医療レセプトを活用した医療費の削減効果をみるための方法を検討しています。</p>	<p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か？</p>
<p>6.2 プログラム評価の結果はどのように活用されているか 述べよ</p> <p>十和田市では、重点課題に基づく領域別対策部会の活動において、それぞれ、短期、中期、長期的な視点で評価方法を定めています。</p> <p>また、内部評価機関である十和田市 SC 外傷サーベイランス懇談会と外部評価機関である日本 SC 推進機構にて、中期的、長期的な評価を行います。それらの評価結果については、十和田市 SC 推進懇談会に報告しています。</p> <p>(報告書 P73 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か？</p>
<p>6.3 プログラムの結果による傷害パターン、傷害リスクに対する姿勢・行動・知識における変化を述べよ</p> <p>十和田市では、各領域別対策部会のプログラムは、短期的（認識や知識の変化）、中期的（態度や行動の変化）、長期的（状態や状況の変化）な指標を定め、それぞれ効果をみています。</p> <p>(例 1)</p> <p>世帯訪問による反射材の利用推進プログラム</p> <p>歩行中の死亡事故が多く、特に 65 歳以上に多いことから、世帯訪問をとおして反射材の利用を呼びかけました。</p> <p>市民アンケートで 60 歳以上の市民 150 人に聞いた結果は次のとおりでした。</p> <p>短期的・中期的評価</p> <p>60 歳以上で「反射材を持っている」と回答した人は 57%で、「持っていない」と回答した人のうち、「ほしいと思っている人」は 68%でした。</p> <p>今後は、反射材の購入先の周知も図っていきます。</p> <p>(例 2)</p> <p>農機具利用による転倒・転落事故予防プログラム</p> <p>農作業時のけがが発生していることから、農業機械の安全操作技術講習会を開催し、農作業時の安全対策や農機具による事故予防を呼びかけました。</p> <p>2014 年に農業従事者 549 人を対象に行った農作業安全確認ア</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か？</p>

<p>ンケートの結果は次のとおりでした。</p> <p>短期的評価</p> <p>「作業内容や作業場所を家族などに伝えている人」は 79.6%、「緊急時に連絡が取れるように携帯電話を持参して作業に出かけている人」の割合は 65.4%となっています。</p> <p>また、「万一の事故に備え、応急処置の知識を身につけている人」の割合は 40.6%となっています。</p> <p>中期的評価</p> <p>「機械、器具の安全装置や防護カバーはきちんと装着して作業している人」の割合は 72.5%、「機械から離れるとき、機械のつまりを取り除くときはエンジンを切っている人」の割合は 79.6%となっています。</p> <p>このことから、今後は農業従事者への救急救命講習も加えていくことにしています。</p> <p>(他のプログラムの詳細は報告書 P74～P83 参照)</p>	
--	--

セクション I 【指標 7】	
<p>7.1 どのように国内・国外の SC ネットワークに参加し、連携しているかを述べよ</p> <p>十和田市では、認証前後を問わず、国内・国外との SC ネットワークに、継続的に参加してきました。そして、参加することで得た情報などを効果的に取り入れることで、更なる SC 活動の推進につなげています。</p> <p>また、SC 認証都市として、積極的に行政視察の受け入れに対応し、SC の理念を発信してきました。こうした活動により、国内での SC に注目する自治体、また、実際に認証を目指す自治体が急増しています。</p> <p>2009 年から 2013 年末までで、89 団体 682 人に対応しました。(報告書 P94 参照)</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>7.2 認証式典は、何等かの国際会議、その他国際的なセミナーやフォーラム、国内の交流と併せて行う予定か</p> <p>国内 SC 認証自治体を始め SC に注目する自治体、また、実際に認証を目指す自治体の交流の機会として、認証式典を位置付ける予定です。</p>	
<p>7.3 どの認証コミュニティを招待する予定か</p> <p>国内 SC 認証自治体を始め SC に注目する自治体、また、実際に認証を目指す自治体を招待する予定です。</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>
<p>7.4 どの海外・国内の会議に参加してきたか</p> <p>十和田市では、認証前後を問わず、国内・国外との SC ネットワークへ積極的に、継続的に参加してきました。</p> <p>2006 年</p>	<p>記述は十分か？</p> <p><input type="checkbox"/> はい</p> <p><input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

<p>台湾セーフコミュニティ視察（台北市内湖区、東勢市） 2007年 日本セーフティプロモーション学会設立総会及び研究会に参加 2008年 第17回セーフコミュニティ国際学会に参加（ニュージーランド） 2009年 国際シンポジウム・日本セーフプロモーション学術大会の開催（十和田市） 第4回アジア地域セーフコミュニティ学会に参加（タイ） 2010年 第19回セーフコミュニティ国際会議参加（韓国） 市民安心・安全フェスタ in あつぎに参加（神奈川県厚木市） 2011年 全国SC推進自治体ネットワーク会議に参加（神奈川県厚木市） セーフコミュニティ・サミット・イン・としまに参加（東京都豊島区） 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議に参加（東京都豊島区） 第5回日本セーフプロモーション学術大会に参加（大阪府池田市） 2012年 横浜市栄区現地審査を視察 京都府亀岡市セーフコミュニティ再認証式典に参加 第9回日本市民安全学会参加（長野県小諸市） 2013年 セーフコミュニティ推進機構の研修会に参加（京都府） セーフコミュニティ海外視察研修に参加（台湾） 横浜市栄区セーフコミュニティ認証式典に参加 日本セーフプロモーション学術大会に参加（茨城県つくば市） 大阪府松原市セーフコミュニティ認証式典に参加 全国SC推進自治体ネットワーク会議「災害時相互応援に関する協定」に参加 福岡県久留米市セーフコミュニティ認証式典に参加</p>	<p>何か：</p>
<p>7.5 どの地域のSCネットワークに加わる予定か（加わりたいか）？（アジア、ヨーロッパ、環太平洋、アフリカ、ラテンアメリカの地域ネットワークがある） アジア地域SCネットワークに加盟します。</p>	<p>記述は十分か？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」の場合、不十分な点は何か：</p>

International Safe Community Membership Application

Form A

Column 1	Column 2
Questions to be answered by the community	Questions to be answered by the certifiers
Section A Community Overview	
<p>A.1 Briefly describe the community and its historical development.</p> <p>Towada City is located in the central southeast of Aomori Prefecture, which is at the very north of Honshu Island. The governorate area is rather large at 725.67km².</p> <p>The mystic Lake Towada and the Oirase Keiryu stream with a kaleidoscopic flow are highlights of the Towada-Hachimantai National Park in the skirts of the majestic Mt. Hakkoda. Known as some of Japanese premiere tourist spots, this area is visited by many from Japan and overseas.</p> <p>The center of the city was developed about 160 years ago following the development plans drawn by Tsuto Nitobe, grandfather of Dr. Inazo Nitobe author of "Bushido" and the new city plan drawn by his son Jujiro Nitobe. The neatly zoned nature-rich streets are called the roots of Japan's modern urban planning.</p> <p>The manmade Inaogawa River irrigates the rice paddies and fields, creating one of the prefecture's prosperous agricultural areas. In recent years, Towada City has developed into a central area that supports the prefecture's southern region's medicine, welfare and economy, etc.</p> <p><i>(See P6 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>A.2 Describe the strategy, ambitions, objectives and work in the community in regard to safety. It must be a higher level of safety than average for a community in the country or region.</p> <p>In the Towada City's priority general plan, our future city image is defined as, "City of emotion and creation - Ideal city where people shine, nature glistens and city's features stand out". To realize this, we have positioned promotion of Safe Community activities in the 1st term enforcement plan starting from 2007, the 2nd term enforcement plan from 2011, and the 3rd term enforcement plan from 2014.</p> <p>We are developing Health Promotion Activities to support health creation by reinforcing our health, medical and welfare systems, and Safety Promotion Activities to prevent accidents and injuries to ensure safety in</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>

<p>our citizens' lives. We will verify the effect and evaluation of our programs, and aim to acquire Safe Community Certification every five years.</p> <p><i>(See 95 of the appendix for more details)</i></p>	
<p>A.3 How are the mayor (or similar function of the community) and the executive committee involved? Who is chairing the cross-sector group?</p> <p>The mayor manages and promotes SC activities in the city as the chair of the "Towada City Safe Community (SC) Steering Committee".</p> <p>In Japanese political system, so an organization that corresponds to the Executive Committee has not been acting differently from those in European countries. However, the SC Steering Committee works to coordinate cooperation across organizations and organize the cross-sector programs, and the Public Welfare Department, City Planning Support Section functions as the secretariat to coordinate cooperation within the government.</p> <p><i>(See P51 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient? Is the mayor involved?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No</p> <p>Is the executive committee involved?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No</p> <p>Who is chairing the cross-sectional group? <input type="checkbox"/></p>
<p>A.4 Describe the injury risk-panorama in the community.</p> <p>Through analysis of safety and injury related data such as ambulance call-out data, Medical institution consultation data, traffic situation, etc., we have identified eight high risk groups and situations in terms of injury occurrence and safety promotion as below.</p> <p>(1) Suicide</p> <ul style="list-style-type: none"> • Suicide has highest mortality in most age groups. (P17: Table 2-2) • Towada City has more deaths by suicide per 100,000 persons compared to national and Aomori Prefecture levels. (P 23: Fig. 2-8) <p>(2) Senior citizen</p> <ul style="list-style-type: none"> • The death rate of senior citizens from accidents is high. (P 19: Table 2-4) • The rate of injury is high among senior citizens. The main cause is injury from tripping and falling during daily life. (P 29: Fig. 2-16, P 38: Fig. 2-23) <p>(3) Traffic accident</p> <ul style="list-style-type: none"> • Towada City has more accidents resulting in injury or death per 10,000 persons compared to Aomori Prefecture levels. (P 41: Fig. 2-29) • 75.0% of fatal traffic accidents while walking involve senior citizens.(P 41: Table 2-17) • During the winter, snow makes it difficult to ensure the availability of sidewalks. (P 6: Table 1-2) 	<p>Is the risk-panorama sufficiently described?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>(4) Disaster</p> <ul style="list-style-type: none"> • The population is aging each year, feeling insecurities regarding disasters. (P 7: Table 1-3) • Each year, there are deaths from building fires. (P 44: Fig. 2-31) <p>(5) Children</p> <ul style="list-style-type: none"> • The rate of injury in the age 0 to 4 range is high. Most injuries are occurring at home (indoors). (P 29: Fig. 2-16, P 31: Table 2-10). • 53% of injuries during elementary school management hours occurred during recess. (P 35: Fig. 2-18) <p>(6) Labor/Work Place</p> <ul style="list-style-type: none"> • Labor disasters occur in various fields including manufacturing, business and construction, etc. (P 39: Fig. 2-26) • Many accidents during farming involve persons age 60 or older. (P 40: Fig. 2-28) <p>(7) Violence/abuse</p> <ul style="list-style-type: none"> • A numbers of consultations regarding child or senior citizen abuse need to be taken to the consideration. (P 48: Fig. 2-36) <p>(8) Leisure activity (sports, tourism) y</p> <ul style="list-style-type: none"> • Injuries are occurring during leisure activities involving sports. (P 45: Fig. 2-32) • Towada City has a tourist area, so it is necessary to provide safety measures for tourists. (P 10: Table 1-9) 	
<p>Section B Structure of the community</p>	
<p>B.1 Describe the demographic structure of the community</p> <p>As of 2013, Towada City's population was 64,694, down 1,727 from 2009.</p> <p>The under-64 population is declining in all age groups, but the over-65 age population is increasing. The rate of aging in 2013 was 26.8% indicating that the community is aging.</p> <p>In 2013, there was a total of 27,095 households. The rate of single person senior-citizen households was 14.2%, and the rate of married senior-citizen households was 8.9%.</p> <p>The total number of households increased by 394 over 2009, but the rate of single person and married senior-citizen households is increasing.</p> <p>The 2013 population distribution shows that the population is high in the over 60 age group for both men and women.</p> <p>As the under 50 population is low, the decreasing birthrate and aging population will continue to advance.</p> <p><i>(See P7,P8 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Is the demographic structure and the different risks sufficient described?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>B.2 Describe the SC/IP at present and the plans for the future.</p> <p>Towada City is implementing various measures in accordance with governmental policies. As a result, long-term, continuous prevention activities are held for most genders, ages and environments. <i>(See P53 ~p66 of the appendix for more details)</i></p> <p>In Towada City's priority general plan, our future city image is defined as, "City of emotion and creation - Ideal city where people shine, nature glistens and city's features stand out". To realize this, we have positioned promotion of Safe Community activities in the 1st term enforcement plan starting from 2007, the 2nd term enforcement plan from 2011, and the 3rd term enforcement plan from 2014.</p> <p>As long-term prospects, we aim to cooperate with the citizens, etc., and establish a safe and secure city. To improve the quality of living, we will continue to promote Safe Community activities using the 2015 Safe Community Re-designation as a passage point. <i>(See P95 ~P96 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>B.3 Describe the support for sustained injury prevention of the local politicians in the community and which parts of the program have been undertaken and/or supported by the regional government?</p> <p>The mayor manages and promotes SC activities in the city as the chair of the "Towada City Safe Community (SC) Steering Committee".</p> <p>Towada City received SC Program Subsidies from the Aomori Prefecture for five years from 2008. In addition, the city is involved in the SC activities as a member of the SC Steering Committee, Task Forces and SC External Injuries Surveillance Committee.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>B.4 Describe the strategic program concerning the safety promotion and injury prevention work, which has been formulated!</p> <p>In Towada City, various programs regarding safety and security such as SC as well as disaster or fire prevention, traffic safety, crime prevention, health promotion and medicine, community welfare, parenting support, senior citizen support, and support for disabled persons, etc., are planned and promoted following our future city image "City of emotion and creation - Ideal city where people shine, nature glistens and city's features stand out" which is a part of the Towada City General Plan. <i>(See P95 ~P96 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>B.5 Who is responsible for the management of the SP/IP program and where are they based in the local political and administrative organization?</p> <p>Towada City Public Welfare Department, City Planning Support Section manager to promote projects related to the main measures being promoted by the city</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>B.6 Which is the lead unit for the SP/IP program?</p> <p>Towada City Public Welfare Department, City Planning Support Section</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>B.7 Is the Safe Communities initiative a sustained program or a project?</p> <p>The Towada City SC activities are programs carried out continuously in collaboration with priority measures in the city. In addition to managing the promotion of the City's general plan, we aim to establish a safe and secure city in cooperation with citizens, etc., to improve the quality of life. We will continue to promote Safe Community activities using the 2015 Safe Community Re-designation as a passage point.</p> <p><i>(See P96 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>B.8 Are the objectives decided by the local politicians covering the whole community? Which are they?</p> <p>Targets that cover the entire city have been set in the "Towada City General Plan", the city's priority plan started in 2007.</p> <p><i>(See P95,P96 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>B.9 Who have adopted these objectives?</p> <p>Hisashi Oyamada, Towada City Mayor</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>B.10 How are the Safe Community objectives evaluated and to whom are the results reported?</p> <p>In Towada City, short-term, mid-term and long-term indicators have been set for each activity implemented by Task Force Committees for prioritized fields based on the priority issues. The short-term and mid-term evaluations are conducted by each Task Force.</p> <p>Mid-term and long-term evaluations are also conducted by the SC Surveillance Committee, which is an internal evaluation organization, and JISC, which is an external evaluation organization.</p> <p>The evaluation results are reported to the Towada City SC Steering Committee. <i>(See P73 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>

<p>B.11 Are economic incentives in order to increase safety used? If yes, how are they used?</p> <p>In Towada City, the proportion of population aging due to a lower birthrate is increasing yearly. The number of injuries sustained by senior citizens is also increasing. To suppress the growth width of medical costs in the future, we have set the "Home environment improvement program" evaluation indicator as a Senior Citizen Safety Task Force program. Reductions in medical costs will be listed and the effect measured.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>B.12 Are there local regulations for improved safety? If so, describe them</p> <p>The "Towada City Safe and Secure City Planning Ordinance" was set in 2005. We aim to clarify the responsibility of the city, citizens and business operators for preventing crime and accidents, and to realize safe and secure city planning.</p> <p>In 2012, the "Towada City Planning Basic Ordinance" was enacted. The role of citizens, the city council and administration are clarified to enable the promotion of a citizen-oriented municipality led by the citizens. We aim to create an energetic Towada City where citizens can live without worry.</p> <p>The "Ordinance regarding promotion of snow removal through cooperation" was enacted in 2013. This ordinance identifies the roles of the city, citizens and snow removal workers, and aims to provide safe and secure life for citizens during the winter. With this ordinance, citizens provide community support for senior citizens and disabled persons, the snow removal workers provide safe and extensive snow removal while observing traffic laws, and the city promotes citizen coordination and organizes the system for snow removal.</p> <p>In 2014, the "Towada City ordinance to promote widening and maintenance of narrow roads through cooperation" was enacted. This aims to eliminate problems faced by fire trucks and ambulances in emergencies and by snow plows, and ultimately create a city that is resilient to disasters and allows citizens to live easily and safely. With this ordinance, if a road is less than 4m wide, 2m from the center line of the road is viewed as the road boundary line. Construction of homes and buildings in this area is restricted.</p> <p>In addition, the following ordinances and community activities are being promoted to improve safety.</p> <p>To prevent persons unable to escape residential fires, the installation of residential smoke detectors was made mandatory in 2008 under the Towada Regional Safety Management Association's Residential smoke</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>detector promotion program.</p> <p>In 2013, the Senior Citizen Safety Watch Over Network registration system was started to provide appropriate and swift response to senior citizen's emergency states and worries. The city, neighborhood associations, postal companies, district welfare officers, health cooperators, newspaper delivery companies, delivery companies, milk delivery service, and electricity, gas and water companies, etc., are cooperating to promote this program throughout the city.,</p> <p><i>(See P55,P57 of the appendix for more details)</i></p>	
<p>Section C Indicator 1</p>	
<p>1.1 Describe the cross-sector group responsible for managing, coordinating, and planning of the SP/IP program.</p> <p>The "Towada City SC Steering Committee" has been set up as an organization to promote Towada City's SC activities. Members include a wide range of organizations and groups that are involved with activities related to safety and security, etc. This Council is set following guidelines set forth by Towada City, and is chaired by the mayor.</p> <p><i>(See P51 of the appendix for more details)</i></p> <p>The Public Welfare Department, City Planning Support Section functions as the secretariat.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>1.2 Describe how the local government and the health sector are collaborating in the SC/IP work.</p> <p>The Public Welfare Department, City Planning Support Section functions as the secretariat for the Towada City SC Steering Committee and each Task Force. Various sections in the city administration participate as members of each Task Force.</p> <p>Members of the Towada City Health Promotion Section, Senior Citizen Nursing Section, Welfare Section and General Support Center participate in the health sector.</p> <p>The Kamitosan Health Department participates as a member of the Towada City SC Steering Committee, SC Suicide Prevention Task Force and SC External Injuries Surveillance Conference.</p> <p><i>(See P51,P52 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>1.3 How are NGOs: Red Cross, retirement organizations, sports organizations, parent and school organizations involved in the SC/IP work?</p> <p>Members of the Towada City SC Steering Committee and the Task Force Committees for prioritized fields include government agencies, medical agencies, neighborhood associations, schools, Chamber of Commerce,</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>City Community Welfare Association, Association of District Welfare and Child Welfare Officers, Youth Health and Education Association and Red Cross volunteer groups, etc. <i>(See P51,P52 of the appendix for more details)</i></p>	
<p>1.4 Are there any systems for ordinary citizens to inform about risk environments and risk situations they have found in the community?</p> <p>Various SC education activities are developed so that organizations, groups and individuals in various positions can cooperate and promote a safe and secure city planning, and so that many residents can participate in SC.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● On-site classes "On-site classes" are held to increase awareness on the city's information and programs. A city SC representative directly visits the sites and explains about the number of suicides and injury prevention, and teaches about SC activities. ● City and neighborhood association discussions Every year, discussions are held with the 292 neighborhood associations in the city to promote city planning in cooperation with citizens. These meetings provide an opportunity to share regional problems and discussion result ions. ● Every August is "Towada City Protect Life Action Month", to recognize SC certification A general action meeting is held every August to alert people to prevent deaths from suicide and external injuries. Seminars to remind people to prevent external causes, as well as to inform people on SC activities and principles are held. ● Information transmission in Information Magazine Towada Articles on SC are published in the city's information magazine. Information includes suicide prevention, and accident and injury prevention. ● SC banners Banners showing SC Certification and calling for accident and injury prevention are posted at City Hall and on four overpasses in the city in aims to educate citizens and tourists. ● Information in website Information on SC activities and the situation of injuries, etc., is posted on the city website to transmit information nationwide. <i>(See P5 of the appendix for more details)</i> 	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>1.5 Describe how the work is organized in a sustainable manner.</p> <p>In Towada City, the "Towada City SC Steering Committee" has been set up as the parent organization for SC activity promotion. Other groups include the "Towada City SC Review Committee" that promotes coordination with administrative policies, the "SC Regional Task Force" that provides cross-sector activities for priority issues through the city, and the "Towada City SC External Injuries Surveillance Conference" that reviews the surveillance mechanism, identifies problems in the city and reviews the activity evaluations.</p> <p>JISC provides support for SC promotion including giving an external evaluation on our programs.</p> <p>A cross-sector system is structure so that each organization understands its role, and coordinates and cooperates with each other to promote activities.</p> <p>To continue the SC promotion organization, promotion of SC activities are positioned in the Towada City General Plan, the city's priority plan.</p> <p><i>(See P50 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>Section D Indicator 2</p>	
<p>2.1 Describe the sustainable work in regard to SC/IP in following areas and how the different sectors including specific NGOs are involved in the work.</p> <p><i>1. Safe traffic 2. Safe homes and leisure times</i> <i>3. Safe children 4. Safe elderly</i> <i>5. Safe work 6. Violence prevention</i> <i>7. Suicide prevention 8. Disaster preparedness and response</i> <i>9. Safe public places 10. Safe hospitals</i> <i>11. Safe sports 12. Safe water</i> <i>13. Safe schools</i></p> <p>Are some of these areas overseen by from other organizations and/or agencies than from the community? How is the community involved?</p> <p>Various safety improvement measures and injury prevention activities are carried out in Towada City. The main activities are listed below. (Refer to pages 53 to 68 in the report.) * The alphabet characters correspond to pages 53 to 60 in the report.</p> <p>1. Traffic safety</p> <p>L: Program to post stop marks in school routes M: Free bicycle inspections at traffic safety classes N: Sidewalk snow removal volunteer project O: Activities to prevent traffic accidents by promoting caution with</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>

<p>flags, etc.</p> <p>P: Activities to promote use of reflectors</p> <p>2. Home safety and leisure safety</p> <p>A: Home visit and instruction to homes with 1-month old infant</p> <p>B: Accident prevention training for parents of infants/toddlers</p> <p>C: Hands-on training for prevention of fire disasters</p> <p>G: AED life-saving training seminar</p> <p>Q: Inspection of park equipment, etc.</p> <p>R: Oirase Keiryu Walkway tree safety inspection</p> <p>3. Child Safety</p> <p>A: Home visit and instruction to homes with 1-month old infant</p> <p>B: Accident prevention training for parents of infants/toddlers</p> <p>C: Hands-on training for prevention of fire disasters</p> <p>F: Prevention of injuries at nursery schools with Near Miss Conference</p> <p>G: AED life-saving training seminar</p> <p>L: Program to post stop marks in school routes</p> <p>M: Free bicycle inspections at traffic safety classes</p> <p>U: Child abuse prevention network</p> <p>4. Senior citizen safety</p> <p>C: Hands-on training for prevention of fire disasters</p> <p>D: Safety class for senior citizens living alone</p> <p>E: Senior citizen safety minamori cooperation group activities</p> <p>G: AED life-saving training seminar</p> <p>5. Labor safety</p> <p>G: AED life-saving training seminar</p> <p>H: Labor Safety and Health Meeting</p> <p>I: Seminars to prevent farming accidents</p> <p>6. Violence prevention</p> <p>U: Child abuse prevention network</p> <p>W: Consultation services by counselors</p> <p>7. Suicide prevention</p> <p>S: Suicide prevention education activities using picture stories</p> <p>T: Kamitosan Regional General Suicide Countermeasures Network Meeting</p> <p>8. Disaster prevention and disaster measures</p> <p>G: AED life-saving training seminar</p> <p>X: Towada City general disaster prevention drills and Voluntary Disaster prevention drills</p> <p>Y: Disaster prevention maps and disaster prevention hazard map</p> <p>Z: Provision of disaster information with Komaran e-mails</p>	
--	--

<p>9. Public (space) safety N: Sidewalk snow removal volunteer project O: Activities to prevent traffic accidents by promoting caution with flags, etc. Q: Inspection of park equipment, etc. R: Oirase Keiryu Walkway tree safety inspection</p> <p>10. Hospital safety Medical management and safety countermeasures are carried out at hospitals throughout the city.</p> <p>11. Sports safety G: AED life-saving training seminar J: Safety management during sports</p> <p>12. Water safety K: Fire Department drills for water accidents at Lake Towada</p> <p>13. School safety (Safe School) V: JUMP team activities for youth crime prevention</p>	
<p>2.2 Describe the work with genders, all ages and all environments and situations. Describe all activities like falls prevention and how the work is done</p> <p>All genders, age group and environments are covered in Towada City. <i>(See P53 ~P60 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient? <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
<p>Section E Indicator 3</p>	
<p>3.1 Identify all high risk groups and describe what is being done to increase their safety. Groups at risk are often:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <i>Indigenous people</i> 2. <i>Low-income groups</i> 3. <i>Minority groups within the community, including workplaces</i> 4. <i>Those at risk for intentional injuries, including victims of crime and self-harm</i> 5. <i>Abused women, men and children</i> 6. <i>People with mental illness, developmental delays or other disabilities</i> 7. <i>People participating in unsafe sports and recreation settings</i> 8. <i>Homeless</i> 9. <i>People at risk for injuries from natural disasters</i> 10. <i>People living or working near high- risk environments (for example, a particular road or intersection, a water hazard etc.</i> 11. <i>People at risk due to religion, ethnicity or sexual preferences</i> <p>Towada City has measures for persons in the following high-risk groups.</p> <p>(1) Foreign nationals (residents and foreign tourists) As of March 31, 2014, there were 189 registered foreign residents. The number of foreign tourists has been increasing every year. Between</p>	<p>Are the descriptions sufficient? <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>

<p>2009 and 2013, ten foreign nationals were transported by ambulance in our City.</p> <p>Due to differences in language and customs, it is difficult to accurately convey information to foreign nationals in the event of disasters and emergencies. This group has been set as a high-risk group as there is a possibility that such persons will be put at risk.</p> <p>Distribution of "Disaster Prevention Points"</p> <p>Publication of "Towada City Multi-Language Citizen Information Magazine"</p> <p><i>(See P61 of the appendix for more details)</i></p> <p>(2) Children and senior citizens who are being abused</p> <p>There are cases where abuse victims cannot talk about their situation, and they tend to keep such abuse to themselves. This group has been set as a high-risk group because it is difficult for children and senior citizens abuse victims to escape on their own, and it is difficult for a third party to understand the situation.</p> <p>Child Abuse Prevention Network</p> <p>Home visit checks to prevent abuse of infants</p> <p>Senior citizen abuse prevention consultations and support</p> <p><i>(See P62 ~ P64 of the appendix for more details)</i></p> <p>(3) Persons with disabilities</p> <p>Persons with disabilities have been positioned as a high-risk group because they could be subject to harm if response is delayed in an emergency such as a disaster.</p> <p>Disaster time assistance requiring person support program</p> <p>Establishment of Towada City Disabled Person Support Council</p> <p>Establishment of welfare evacuation centers</p> <p><i>(See P65, P66 of the appendix for more details)</i></p> <p>(4) Persons contemplating suicide</p> <p>Persons contemplating suicide are positioned as a high-risk group as there is a risk that they may repeatedly attempt to harm themselves.</p> <ul style="list-style-type: none">• Coordination with specialists to lead to early treatment <p><i>(See P66 of the appendix for more details)</i></p> <p>(5) Hikers</p> <p>Between 2009 and 2013, there were 44 mountain accidents within the Towada Police Department jurisdiction. 55% of these cases were rescues of hikers who could not come down on their own. There have also been cases of deaths and persons who were not found. Thus, hikers have been positioned as a high-risk group.</p> <p>Mountain accident prevention activities</p> <p><i>(See P67 of the appendix for more details)</i></p>	
---	--

<p>3.2 Give examples of high risk environments</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Describe how risk environments in the community are identified 2. Describe prioritized groups and/or environments 3. Are there specific programs for their safety in the community 4. Describe the timetable of the work 5. Are these groups involved in the prevention aspect of these programs? <p>Towada City has set the following high-risk environments and taken various measures.</p> <p>(1) City intersections with many traffic accidents</p> <p>There are some intersections in the city with a high rate of accidents resulting in injury or death. The intersections at which the number of traffic accidents was high between 2008 and 2010 have been positioned as a high-risk environment.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cautions to automobile drivers <p><i>(See P67 of the appendix for more details)</i></p> <p>(2) Roads around Lake Towada and Oirase Keiryu</p> <p>Tourists to Lake Towada and Oirase Keiryu, etc., drive their cars and motorcycles on Rt. 394, which connects Towada City to Aomori City. This road has some sharp curves and steep inclines, and if a traffic accident occurs, it takes time for emergency services to arrive. In both 2012 and 2013, there was a fatal motorcycle accident. The same situation could occur on the roads around Lake Towada and Oirase Keiryu, so this area has been positioned as a high-risk environment.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cautions to motorcycle riders <p><i>(See P68 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>Section F Indicator 4</p>	
<p>4.1 Describe the evidence-based strategies/programs that have been implemented for different age- groups and environments.</p> <p>Towada City conducts the following evidence-based programs for each age group and environment.</p> <p>(1) Suicide prevention measures</p> <ul style="list-style-type: none"> • Support program for persons suffering from mental disorders • Active listener volunteer training program <p>(2) Senior citizen safety</p> <ul style="list-style-type: none"> • Watch over support program • Oral cavity exercise training program • Home environment improvement program 	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>(3) Traffic accident prevention</p> <ul style="list-style-type: none"> • Reflector use promotion program • Intersection accident countermeasure program • Sidewalk snow removal volunteer project program <p>(4) Disaster prevention</p> <ul style="list-style-type: none"> • Residential smoke detector promotion program • Voluntary disaster prevention drill program <p>(5) Child safety</p> <ul style="list-style-type: none"> • Program to educate parents of infants/toddlers • Safety countermeasure program for elementary schools <p>(6) Labor safety</p> <ul style="list-style-type: none"> • Labor Safety and Health Meeting program • Program to prevent trip/fall accidents while using farming equipment <p>(7) Violence and abuse prevention</p> <ul style="list-style-type: none"> • Violence and abuse prevention program • Marble Ribbon Program education program <p>(8) Leisure activity (sports, tourism) safety</p> <ul style="list-style-type: none"> • AED life-saving training program • Warnings for motorcycle riders <p><i>(See P74 ~P83 of the appendix for more details)</i></p>	
<p>4.2 Has any contacts been established with SCSC , WHO CCCSP, other scientific institutions, or knowledgeable organizations about the development and/or implementation of evidence-based strategies? Which ones? What has been the extent of their counsel?</p> <p>Towada City has collaborated with the following groups to plan and implement evidence-based measures (strategies).</p> <p>(1) Japan Institution for Safe Communities (JISC)</p> <p>Towada City is collaborating and cooperating with JISC to promote Safe Community activities. JISC provides information and advice, gives lectures in and out of the city hall, and acts as an advisor for managing task force, etc. Towada City's activities are analyzed and evaluated so we can improve our activities.</p> <p>(2) Collaboration agreement with Aomori University of Health and Welfare</p> <p>In August 2008, Towada City entered into a support agreement with the Aomori University of Health and Welfare to promote the Safe Community program.</p> <p>We have established an important relationship with the university as they analyze our injury surveys, and participate as a member of the Safe Community Promotion Organization.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>

<i>(See P73 of the appendix for more details)</i>	
Section G Indicator 5	
<p>5.1 What local data is used to determine the injury prevention strategies? For example, registering injuries can be done at hospitals, health centers, dentists, schools, care of the elderly organizations and the local police. Household surveys can also be used for collection of data about injuries and risk environments and risk situations. Which methods are used in the community?</p> <p>Towada City collects and evaluates the following data on each injury and illness to decide our measures: Demographic statistics, police statistics, Ambulance call-out data, Fire Department annual report, data on consultations regarding violence/abuse, etc., labor accident statistics, records on elementary school/Jr. high school disaster mutual aid payments, Healthy Towada 21 survey, medical institution consultation data, Safe and Secure City Planning Survey, awareness survey for guardians of infants and toddlers, survey on safe management of youth sports teams, Farming Safety Confirmation Survey, survey on safety measures for companies and businesses, etc.</p> <p><i>(See P71,P72 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>5.2 Describe how data are presented in order to promote safety and prevent injuries in the community.</p> <p>The various data collected by Towada City is presented by the relevant agency and group in a matter that complies with the Task Force indicators.</p> <p>(Example)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Demographic statistics Tabulated and presented by the Ministry of Health, Labor and Welfare based on city information. ● Police statistics Collected, tabulated and presented yearly by Police. ● Ambulance call-out data Collected, tabulated and presented monthly by Fire Department. <p><i>(See P70 ~P72 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>5.3 Describe how the community documents and uses knowledge about causes of injuries, groups at risk and risky environments. How does the community document progress over time?</p> <p>(1) Existing data by administrative agencies, etc., (2) medical institution consultation data and (3) surveys, etc., are continuously collected for use as external injury surveillance data in Towada City.</p> <p>The collected data is tabulated by the Public Welfare Department, City Planning Support Section (secretariat), analyzed by the Towada City SC External Injuries Surveillance Committee and provided to each task force. Each task force uses the provided data, etc., to set the challenges and use the data to measure the effect.</p> <p><i>(See P73 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>Section H Indicator 6</p>	
<p>6.1 How does your community analyze results from the injury data to track trends and results from the programs? What is working well and has given you good results. What are the plans to continue? What needs to be changed?</p> <p>In Towada City, the Fire Department's Ambulance call-out data has been continuously collected since 2011 for use as external injuries data. In addition, medical institution consultation data from surgical/orthopedic departments in the city has been collected and used when possible.</p> <p>The Towada City SC External Injuries Surveillance Committee analyzes and presents the external injuries data so that the effect of programs set by each Task Force can be measured and evaluated.</p> <p>Each Task Force uses the analysis results to propose and implement new prevention measures.</p> <p>Currently, a method to reduce medical costs by using late-stage elderly person's healthcare receipts is being considered.</p>	<p>Are the methods used sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>6.2 Describe how the results from the program evaluations are used</p> <p>In the regional task force activities based on priority issues, Towada City has set an evaluation method with a short-term, mid-term and long-term perspective respectively.</p> <p>Mid-term and long-term evaluations are made by the Towada City SC External Injuries Surveillance Committee, an internal evaluation agency, and JISC, an external evaluation agency. Each agency's evaluation results are reported to the Towada City SC Steering Committee.</p> <p><i>(See P73 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>6.3 Describe the changes in pattern of injuries, attitudes, behavior and knowledge of the risks for injuries as a result of the programs.</p> <p>Towada City has set short-term (changes in awareness or knowledge), mid-term (changes in behavior or actions), and long-term (changes in state or situation) for each regional task force program. The effect of each program is monitored.</p> <p>(Example 1)</p> <p>Program to promote use of reflectors through home visits</p> <p>There are many fatal accidents among pedestrians, and the number is especially high in the age 65 and higher group. Each home was visited to promote use of reflectors.</p> <p>150 citizens age 60 and older were surveyed. The results were as follow: Short-term, mid-term evaluation 57% of persons 60 and older responded they owned reflectors. Of those who responded that they don't have reflectors, 68% said they wanted reflectors.</p> <p>We will inform the public of where they can purchase reflectors.</p> <p>(Example 2)</p> <p>Program to prevent trip/fall accidents while using farming equipment</p> <p>Cases of injuries sustained while farming have been reported, so a training seminar to learn safe operation of farming equipment was held. Participants were reminded of safety measures for farming and to prevent accidents while using farming equipment.</p> <p>The results of the Faming Safety Confirmation Survey of 549 farmers in 2014 are as follow.</p> <p>Short-term evaluation</p> <p>79.6% of the respondents said that they tell their family, etc., of what and where they will be farming. 65.4% said they had cell phone so they could contact someone in the event of an emergency.</p> <p>40.6% said they knew first aid in case of an emergency.</p> <p>Mid-term evaluation</p> <p>72.5% of people responded that they properly attach the machine or equipment's safety devices or protective covers while they work, and 79.6% said they turn the engine off when stepping away from the machine or removing things stuck in the machine.</p> <p>Based on this, we decided to include first-aid training for farmers.</p> <p><i>(Other programs are shown in P74 ~P83 of the appendix)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No., If no!! What is missing:</p>
--	---

Section I Indicator 7	
<p>7.1 Describe how the community has joined in and collaborates in national and international safe community networks.</p> <p>Towada City has actively and continuously participated in SC network in Japan and overseas both before and after receiving certification. By effectively incorporating the information we gained, we have been able to further promote our SC activities.</p> <p>As a SC Certified city, we have actively accepted administrative observations, and have promoted the SC principles. Through these activities, the number of municipalities in Japan considering SC and the number of municipalities actually aiming for certification have suddenly increased.</p> <p>Between 2009 and 2013, 682 people from 89 groups visited us. <i>(See P94 of the appendix for more details)</i></p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>7.2 Will the designation ceremony coincide with any international conference, seminar or other forms of international or national exchange?</p> <p>We plan to position the certification ceremony as an opportunity of exchange between SC Certified municipalities in Japan, municipalities considering SC, and municipalities that are actually aiming for certification</p>	
<p>7.3 Which already designated Safe Communities will be invited for the designation ceremony?</p> <p>We plan to invite SC Certified municipalities in Japan, municipalities considering SC, and municipalities that are actually aiming for certification.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
<p>7.4 Which international conferences and national Safe Community conferences has the municipality participated in?</p> <p>Towada City has actively and continuously participated in SC network in Japan and overseas both before and after receiving certification.</p> <p>2006</p> <ul style="list-style-type: none"> • Visited Safe Community in Taiwan (Neihu District, Taipei City and Tongshi District, Taichung City) <p>2007</p> <ul style="list-style-type: none"> • Participated in the Japanese Society of Safety Promotion establishment ceremony and seminar 	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>

<p>2008</p> <ul style="list-style-type: none">• Participated in 17th Safe Community International Conference (New Zealand) <p>2009</p> <ul style="list-style-type: none">• Sponsored International Symposium, Japan Safe Promotion Academic Conference (Towada City)• The 4th Asian Regional Conference on Safe Communities (Thailand) <p>2010</p> <ul style="list-style-type: none">• Participated in 19th Safe Community International Conference (South Korea)• Attended Citizen Security and Safety Festa 2010 in Atsugi (Atsugi City, Kanagawa Prefecture) <p>2011</p> <ul style="list-style-type: none">• Participated in National SC Promotion Municipality Network Conference (Atsugi City, Kanagawa Prefecture)• Participated in Safe Community Summit in Toshima (Toshima City, Tokyo)• The 6th Asian Regional Conference on Safe Communities (Toshima City, Tokyo)• Participated in the 5th Japan Safe Promotion Academic Conference (Ikeda City, Osaka Prefecture) <p>2012</p> <ul style="list-style-type: none">• Visited local review of Sakae Ward, Yokohama City• Participated in Kameoka City, Kyoto Prefecture Safe Community re-designation ceremony• Participated in 9th Japan Citizen's Safety Academic Conference (Komoro City, Nagano Prefecture) <p>2013</p> <ul style="list-style-type: none">• Participated in JISC seminar (Kyoto Prefecture)• Participated in Safe Community Overseas Observation Tour (Taiwan)• Participated in Sakae Ward, Yokohama City Safe Community Certification ceremony• Participated in the Japan Safe Promotion Academic Conference (Tsukuba City, Ibaragi Prefecture)• Participated in the Matsubara City, Osaka Prefecture Safe Community Certification ceremony• Participated in National SC Promotion Municipality Network Conference "Agreement on mutual support in time of disaster"• Participated in Kurume City, Fukuoka Prefecture Safe Community Certification ceremony	
--	--

<p>7.5 In which Regional Network for Safe Communities is the community a member or planning to seek membership? (Asian, European, Pan-Pacific, African or Latin-American Regional Network for Safe Communities)</p> <p>We are participating in the Asian District SC Network.</p>	<p>Are the descriptions sufficient?</p> <p><input type="checkbox"/> Yes</p> <p><input type="checkbox"/> No.., If no!! What is missing:</p>
---	--